

## 総務常任委員会行政視察（概要）

### 1 視察日

平成30年5月17日（木）～18日（金）

### 2 視察項目（視察都市）

- ・ふるさと納税の取り組みについて（静岡県焼津市）
- ・防災の取り組みについて（静岡県掛川市）

### 3 参加委員

委員長：友次通憲、副委員長：塚 理

委員：大野幾子、下野 巖、上田光夫、篠原一代

### 4 調査概要

焼津市では、水産都市「焼津」のブランド力、知名度を上げることを目的に、ふるさと納税寄附金において全国トップ10入りを目標に掲げ、専任組織をつくり、シティ・プロモーションを行なった結果、平成27年度ふるさと納税寄附金額は、38億2,600万円で、全国2位となった。なお、寄附金のうち基金積立分は、返礼品送付などを実施する「ふるさと納税推進事業」と、子育て支援、観光・交流、健康増進支援の3つの事業から成る「ふるさと納税活用事業」に活用されている。

掛川市では、自治会単位で結成されている237カ所の自主防災会を中心とした防災の取り組みが推進されており、中学生とともに体育館で避難生活を体験する取り組みや避難所で使う毛布を自分たちで公会堂に保管しておく取り組みなど、積極的な自主防災活動を行っている。また、地域防災リーダーの育成にも力を入れており、平成24年度から10年の間に1,000人のリーダーを育てることを目標に、防災講座を開講するなど、人材育成にも取り組んでおり、平成29年度までに、延べ932人が受講している。



### 5 委員長所感

焼津市では、ふるさと納税の取り組みの成果として、焼津市の産業振興への貢献や観光客や流入・交流人口が増えまちに活気が生まれたこと、事業者、市民、職員が元気になることを挙げておられた。本市においては、ふるさと納税額の6倍が個人住民税の控除額となり、財政運営面で大きな課題となっていることから、焼津市の取り組みは大変参考になった。

掛川市では、家庭の避難計画を推進し、みずからが地域の災害危険箇所を理解し、避難経路を考え、災害による死亡者ゼロを目指す取り組みや、防災訓練では、市内特別支援学校高等部の生徒が参加した福祉避難所運営訓練も実施されていた。また、災害時要配慮者避難支援計画については、在宅対象者の20%の不同意者への働きかけと、同意者で自立避難不可能者・支援者なしの方への個別計画を進められており、市民・地域・職員が危機意識を共有し、一体となり課題解決に向かう姿勢は、たいへんに参考になった。